

留学報告書

記入日：2026年1月28日

所属（学科）	農学部 農学科
留学先（国名）	タイ
留学先（大学名）	カセサート大学
留学期間	2025年8月～2025年12月
留学した時の学年	3年生
留学先での所属学部	農学部
帰国年月日	2025年12月31日
明治大学卒業予定年	2026年3月

留学費用項目	現地通貨（Bht.）	日本円	備考
授業料（負担型の場合）	0	0円	
宿舎費	6,900	34038円	
食費	22,500	110,000円	1ヶ月約22,000円
図書費・学用品費	0	0円	
被服費	1,000	5,000円	
医療費	0	0円	
保険費	9,478	46,760円	
渡航旅費	20,270	100,000円	
雑費	10,135	50,000円	
その他	5,000	25,000円	
合計	75,283	370,798円	

渡航情報

渡航費用 合計：100,000 円

渡航に際して利用した旅行会社や、ガイドブックを教えてください。

特になし

滞在携帯関連

(1) 種類（留学中の滞在先について）（例：アパート、大学の宿舎など）

キャンパス内の国際寮

(2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋（同居人数 人）

(3) 住居を探した方法

留学先の協定留学担当の事務の方と相談して決めました。

(4) 感想（滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス）

冷蔵庫やベッド、エアコンなどの必要最低限のものが備え付けられていました。キッチンや電子レンジがなかったので自炊はできませんでしたが、ほとんど毎日大学内のマーケットで買っていたので、食事には困りませんでした。水道水やシャワーから出る水が濁っていたり、トカゲが部屋の中に入ってきたりするので苦手な人は大変かもしれません。しかしひ二人部屋を一人で使わせてもらっていたので、とても広々としており快適でした。

現地情報

(1) 現地で病院にかかったことはありますか。大学の医務室／診療所で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用した：

利用する機会がなかった

(2) 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

現地でできた友達か留学先の先生方に相談していました。大きな問題が起きず相談窓口の有無を調べる必要もなかったので、相談窓口と呼ばれるものがあるのかはわかりません。しかし留学担当の事務の方や先生方は非常に優しく、いつでも相談に乗ってくれます。また場所が離れていたため直接お会いすることはなかったのですが、明治大学アセアンセンターの方にもメールでよく相談に乗っていただきました。

(3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか。その際、どのように対処しましたか。

タイの大天使館にメールアドレスを登録すると、定期的にタイ国内のニュースなどが送られてくるのでそこで情報収集をしていました。また夜遅くなる時は、友達や先生が送ってくれました。

犯罪に巻き込まれたことはありません。

(4) PC, 携帯電話, インターネット接続について, 現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネットが不安定で、1週間に1度は全く繋がらない時があった。街にあるカフェではWi-Fi接続が可能だった)

寮や学校のWi-Fiを利用していました。最初のころは寮のWi-Fiがつながらなかったため、留学先の先生に相談したところ、ルーターを貸してくれました。現地でsimカードも購入しました。

(5) 現地での資金調達はどのようにして行いましたか。

(例: 現地に銀行口座を開設し、日本の親から送金してもらい、クレジットカードも併用していた)

現地に銀行口座を開設しました。カードがほとんど使えず、現金がメインだったためクレジットカードでATMから引き落としていました。

(6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本のお菓子などはタイでも手に入れることはできますが、価格が非常に高いです。タイ人にあげると非常に喜ばれるので、自分用にも友達用にももう少し持つていいかと思います。

また日射がとても強いので涼しくて日よけになるパーカーなどを持っていくとよいと思います。

(7) 【授業料負担型の方】授業料支払い方法、支払い時期について教えてください。

(例: 渡航前に自分のクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った)

交換型留学でした。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
(1) 留学先で取得した単位数合計	(2) 本学で認定された単位数合計
9 単位	6 単位
(2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語） special problems	履修した授業科目名（日本語） 特別課題
単位数	3
授業形態	実験（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	不定期
授業内容	不定期に開催される授業で、教授と話し合いながら自分で設定したテーマの研究を進めていきます。研究テーマの設定からプレゼンテーションまですべて自分で行います。
試験・課題など	研究計画書の作成、実験の実施、実験結果のまとめ、プレゼンテーション
感想（自由記入）	履修した授業の中で最も苦労した科目です。特に研究計画書を自分で書くのが初めての上、英語で書くというのは本当に大変でした。しかし、この授業を通して英語力だけではなく研究に取り組む者としても、大きく成長できたと感じています。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）		履修した授業科目名（日本語）
selected topics in soil science		土壤科学の選択トピック
単位数	3	
授業形態	講義形式（講義形式・ディスカッションなど）	
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回	
授業内容	土壤学分野の様々な先行研究を読み解きながら、最新の土壤学に関する理解を深めていく。	
試験・課題など	試験、プレゼンテーション	
感想（自由記入）	この授業はほかの現地の生徒ともに行う授業だったので、授業中も発言がしやすく楽しみながら受けることができました。グループで行うプレゼンテーションもあり、この授業を通して交友関係が広がりました。	

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Soil science	土壤科学
単位数	3
授業形態	講義形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に90分が4回
授業内容	土壤科学の基本的な知識について、生物・化学・物理など様々な方面から学んでいきます。
試験・課題など	試験
感想（自由記入）	この授業は先生との1対1だったため、わからないところはすぐ質問できるのがとてもよかったです。スライドがタイ語で書かれているものが多く、理解するのが非常に難しかったので予習・復習を欠かさず行っていました。

●留学中の一週間のスケジュール（例）

※授業だけでなく課外活動・交流会・自習・その他自由時間の活用についても具体的にご回答ください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝							
午前中	soil science	selected topics in soil science	selected topics in soil science	soil science	自習	外出	外出
	soil science	selected topics in soil science	selected topics in soil science	soil science	自習		
午後	自習	自習	自習	自習	soil science		
	自習	自習	自習	自習	soil science		
夜		外出	外出		外出		

●留学体験記

以下の項目について、それぞれ 200 字程度で具体的にご回答ください。

準備しておけばよかった事	タイ語は知っているほどもっとコミュニケーションがとりやすかったんだろうなと思います。特に私は田舎に住んでいたため、大学外の現地の方々は英語が話せませんでした。そういった方々と話すことができなかつたのは大変でしたし、残念に思います。ただ発音だけは学習していったので褒められることが多く、実際に役立ったのでやっておいてよかったです。
留学先を選んだ理由	農学部の協定留学制度で留学先の授業料が免除される大学の中でも、農学に強い学校に行きたかったためです。特に東南アジアの土壤について興味があったので、その分野について詳しく学べるこの大学を選びました。また、タイには行ったことがなかった上、文化や生活も日本とは全く異なるため、そこで生きている人々の考え方や生き方に触れてみたいと思ったのも大きな理由です。
大学・学生の雰囲気	想像していた通り、優しい人ばかりで、困った顔をしているとすぐに助けてくれます。学生たちはもちろん、先生方や大学内で働く従業員の方々も本当にあたたかいです。先生方に関しては、時間があるときはご飯や観光に連れて行ってくださることもありました。キャンパス内はとても広く、カフェもたくさんあるため非常に居心地がよかったです。毎日大学内でマーケットが開かれるのでそこで買い物をするのも日々の楽しみでした。
寮の雰囲気	キャンパス内の国際寮には留学生がたくさん住んでおり、そこに住む子たちもよくご飯を食べに行くなど、この寮を通して交友関係も広がりました。部屋もきれいでし、中庭もあるので休日は寮の中でゆったりと過ごす日もありました。また一週間に1回メイドさんが自分の部屋を掃除しに来てくれるのもとてもありがたかったです。しかし、トカゲが部屋に入ってきたり、水道の水が茶色かったりなど、衛生面に関して苦労した部分がありました。
交友関係	同じ専攻の中で英語を喋れる現地の子たちがいたため、その子たちとよく行動していました。休み時間や放課後は一緒におしゃべりやゲームをしたり、バドミントンをしたりしていました。また私はタイ語がほとんど話せませんでしたが、英語を話せない子とも仲良くなり、ご飯をよく食べに行っていました。言語での意思疎通がなかなかできない中でも、ボディランゲージを駆使してコミュニケーションをとっていました。 その他にも、カンボジアやミャンマー、そして日本人の留学生ともよくご飯に行きました。日本人の友達とずっと一緒にいすぎるのによくないとは

	思いますが、その子たちの話を聞くのも勉強になりますし、そこから交友関係も広がったので仲良くなれてよかったです。
困った事・大変だった事	自分の部屋でダニが大量発生してしまったときはとても大変でした。現地の子や寮の方と相談し、部屋を移動させてもらい、塗り薬や殺虫剤をもらったおかげで解決はしたのですが、治るまでは体中かゆくて眠れないほどでした。 また、現金調達の方法についてもっと日本で準備すべきだったと思います。ATMのキャッシングを利用してましたのですが、手数料などでかなりお金を取りられてしまうため、日本にいる間にもっと調べておけばよかったです。
学習内容・勉強について	私は日本での専攻とタイでの専攻が違うため、最初はついていくのがかなり大変でした。一緒に授業を受けている生徒が4年生だったこともあり、自分の知識量のなさに落ち込んだり、授業中に出てくる専門用語がわからなかったりで、毎日かなりの時間をかけて予習復習を行っていました。その甲斐もあって、留学生活後半には授業にもついていけるようになり、毎回の授業が本当に興味深く、楽しかったです。
課題・試験について	プレゼンテーションやテストも英語で行われるため、やはり普段日本で行われるものよりも準備が大変でした。特に試験については担当教授との意思疎通がうまくいかず、試験直前に範囲が大幅に増えたものもあり、非常に苦労しました。しかし、試験前日に現地の友達と一緒に勉強したり、図書館にこもって勉強したりしたのは今振り返ってみると、とても印象深い思い出です。
大学外の活動について	大学の実習や実験が忙しかったため、長期間大学外で活動するという機会はなかったのですが、現地でできた友達と毎日ご飯やデザートを食べに行ったり、タイ国内を旅行したりした思い出はかけがえのないものです。また、一週間に一度、大学で働く研究員の方が開くパーティーに参加し、みんなでタイ料理をつくったのも本当に楽しかったです。そのほか、何度かタイ人と日本人の文化交流会に行き、日本の文化をタイの学生に教える機会もありました。